



ななサハ



越谷市市民活動支援センターでは7つのサポート(ななサハ)を行っています。

発行元：越谷市市民活動支援センター 〒343-0816 埼玉県越谷市弥生町16-1 越谷ツインシティBシティ5階 URL <http://koshigaya-activity-support.info/>

地域コミュニティ
市民活動団体
民間事業者等の協働で

未来へつなげよう



豊かな環境を未来に残すための市民活動

越谷市は、「水郷こしがや」と呼ばれているように、かつては湿地や沼が広がり、豊かな自然に恵まれた場所でしたが、都市化の進展に伴い、緑が減り、環境悪化が心配される時期がありました。

このようなことから、越谷市は、平成12年に越谷市環境条例を施行し、環境の保全及び創造に関する施策の基本となる事項などを定めました。

さらに、平成23年には越谷市環境管理計画を改定し、望ましい環境像を「未来へつなげよう、地球と人にやさしいまち こそがや」とし、5つの基本目標を設定しました。(※右記参照)

とくに基本目標5では、「市民みんなの協働で、だれもが環境保全に参加するまち」と題し、市民参加の立場から環境を守る取り組みを強調しています。

今回の特集では、緑地の維持管理作業、河川環境の保護活動、ゴミ拾いなどの清掃美化活動を続けている複数の団体をクローズアップしました。



越谷市環境管理計画の基本計画と具体的な目標

基本目標1

安全で安心して暮らせる生活環境を守るまち

市民・事業者・行政が、それぞれの立場で、環境へ大きな負荷をかけない生活や事業活動に心がけ、空気、水、川など環境に対する負荷を少なくすることで、安全で安心して暮らせる生活環境を守るまちとすることを目標とします。

基本目標2

資源やエネルギーを大切にし、エコな暮らしを実現するまち

不要な照明の消灯や、公共交通機関をできるだけ活用するなど、各自の暮らしの中で出来ることから取り組みます。また、地球温暖化対策のためだから、と我慢ばかりをずっと強いるような社会ではなく、新エネルギーや省エネルギー、資源循環などの新たな技術を積極的に取り組んでいくことにより、環境に優しい、新しいライフスタイルへの転換を図り、資源やエネルギーを大切にし、エコな暮らしを実現するまちとすることを目標とします。

基本目標3

多様で豊かな自然の恵みを次世代へつなげるまち

生き物とふれあえるビオトープや、河畔林、農地、社寺林・屋敷林といった緑、河川・用水路といった親水空間などの豊かな資源が、将来にわたって継承されるように、多様で豊かな植物や動物の生息・生育環境等、自然・生態系、緑が保全されることにより、多様で豊かな自然の恵みを次世代へ残せるまちとすることを目標とします。

基本目標4

潤いと安らぎがある、住み続けたいまち

先人から脈々と受け継いできた文化や歴史的な資源、大澤古利根川や元荒川・綾瀬川などの河川や、葛西用水をはじめとする農業用水路による豊かな水環境や埼玉競馬場周辺、久伊豆神社・みどりの森公園周辺といった環境保全区域など、越谷ならではの景観や街並みを保全し、都市と自然の共存を図ります。越谷の歴史と文化が感じられ、潤いと安らぎがある住み続けたいまちとすることを目標とします。

基本目標5

市民みんなの協働で、だれもが環境保全に参加するまち

あらゆる主体が環境保全や生物多様性の保護などに関する意識を高めるために、あらゆる場所で環境教育や環境学習が行われるとともに、それぞれの立場から積極的に行動し、普及に努めるなど、常により良い環境づくりのために活動します。そして、これらの各活動がネットワークとしてつながっていくことにより、市民みんなの協働で、だれもが環境保全に参加するまちとすることを目標とします。

越谷市市民活動支援センター平成30年度の協働事業

越谷市市民活動支援センターでは、市民活動団体とともに、活動の活性化と協働のまちづくりの推進のため年間を通して、さまざまな事業を行っています。

◆出番です！わがまちNPO① 一単独企画一

市民活動の場の提供と運営の支援、および周知促進のため、市民活動団体が主体となり、事業企画・運営を行う場を設けます。

◆出番です！わがまちNPO② 一協働企画一

市民活動団体におけるノウハウを発展させるため、複数の市民活動団体が協働することで、より充実した企画・運営を行う場を設けます。

◆出番です！わがまちNPO③ 「ほっほひろば」

【おはなし会】絵本を通し、豊かな親子関係を築くことを目的に、親子が心を通わせる楽しいひとときを提供します。

【子育て交流サロン】異世代交流や子育てに関する話題を共有できる場を提供します。

◆出番です！わがまちNPO④ 「うたごえ広場」

市民の交流と健康増進を図ることを目的に、明るく楽しく歌うことで心と身体が健やかになるような場を提供します。

◆出番です！わがまちNPO⑤ 「かふえども」

地域の方々に交流の場を提供し、市民活動の裾野を広げることを目的に、当センターの登録団体が主体となり、企画および運営を行います。

◆出番です！わがまちNPO 「パソコンなんでも相談」

パソコン操作が困難な市民のためのマンツーマンの相談会。

◆センターの日

当センターおよび登録団体の活動をより多くの方々に周知するため、登録団体の活動紹介や作品の展示などを行います。

※各事業の日程等が決まり次第、チラシやホームページ等でお知らせいたします。

登録団体一言コメント

越谷市政モニターOR会

watabe@citycyberhome.jp

市民の皆様、楽しみながら市政に参加しませんか？相談・提案を通じ、安心・安全な越谷の街づくりを目指します。市政モニター登録者以外の方々も入会OK。意欲ある市民の参加をお待ちしています。(渡部さん)

越谷市母子連帯福祉会「すまいる会」

tanabeko@bluebird224@gmail.com

本会は越谷市在住・在勤の一人親家庭が地域と交流し励まし合い、生活の向上と問題解決のための方法を求める事を目的としています。いつでもお声をかけください。(塚田さん)

特定非営利活動法人「すまいる会」

ryanshou@23@f33.net.ne.jp

住み慣れた地域で健康で安心した生活を送れるように2006年より健康体操、施設支援、生活支援等お手伝いをしながら、いろいろな方が自分の健康と生き甲斐づくりを頑張っています。(山口さん)

特定非営利活動法人Take

http://www.Take.or.jp

障害者(児)の支援を越谷市で展開し今年で20年を迎えます。これから地域の皆さまと共に越谷市の福祉の一翼を担ってまいります。(倉野さん)

越谷アリタキ緑の会

achich2013@hb.tp1.jp

この会は、越谷アリタキ植物園の樹木や野草の調査、維持管理、来園者へのガイド、校外学習の小学生への学習支援、周知活動など会員各自が得意なことをおこなっています。(吉富さん)

しあわせのたねプロジェクト

tanepuro.life@gmail.com

子育てママが主催するこだわりのマルシェAtachakaを毎月13日毎の日に開催。私達は地域のママ達の活躍の場を広げ、食と農を中心にした子育てコミュニティ作りを取組んでいます。(小吉さん)

おともサークル [Rhyme]

otomocircle.rhyme@gmail.com

初めて触れ合う「おと」、同じ年頃のお友達やお母さん同士「ともだち」になれる様「とも」から名付けました。音楽活動を行っている二人を中心に体験講座やコンサートの企画をしています。(成田さん)

ビブリオバトルin越谷

tozakeda@gmail.com (武田)

読書の好きな方々が紹介したい本を持ち寄り、各自5分間で紹介し3分間質疑をするゲームです。1冊の本をまとめて発表する力や人前で話しをする勇氣を養うことができます。最後に全員で投票してチャンプ本を決めます。(藤根さん)

グリーンサポート増玉(生と死を繋げる増玉支部)

erikoshiga@ahoo.colp

何かを喪失した時の心身の反応をグリーンと捉え、特に大切な人を亡くされグリーンに苦しんでいる方々に寄り添う「わかちあいの会」等を開催し、精神的な回復力を援助する活動をしていきます。(内田さん)

ふれあいサロン「たかばたけ」

may.jun143@gmail.com

ふれあいサロン・たかばたけは居住地域、対象年齢を定めないのでなたでも利用できる多世代広域型サロンです。健康体操、ゲームなどプログラムを固定せずに利用者の声を聞きながら毎度でサロン作りをしています。(安井さん)

観光情報

越谷ねぎ匠の会



生産者のみなさん

今や深谷ねぎに並び埼玉を代表する冬の味覚と言えは越谷ねぎです。松本真善さんはその越谷ねぎを全国に広めるため、「越谷ねぎ匠の会」を生産者と一緒に立ち上げました。ねぎの生産者と事務局の松本さん、農協などが加わり、越谷ねぎの規格基準を作りブランド化し、共同出荷を行う団体です。約5年前、当時商工会の特産品開発委員会副委員長を務めていた松本さんは、市から越谷ねぎのコーデいネートを依頼されました。飲食店業者や生産者を集め、合コンならぬ「ねぎコン」を行い意見交換を行いました。生産者はそれぞれ良いものを作ろうと各々こだわりの持っているのだといひます。しかし生産者同士の交流は少なく、なかなか知識やノウハウを共有できていませんでした。そこで松本さんが生産者同士をマッチングさせ、より良い生産の形を目指しました。生産者同士が協力して、出資し立ち上げた団体は珍しいと松本さんは言います。越谷ねぎの専用袋も作り共同出荷しています。

高くても美味しいねぎであることがコンセプト。最初は即しに苦労した「そうです。しかし、松本さん自らスーパーに赴き、試食販売をするとなぎはあつという間に売れ、やがて小売店にも受け入れられていったそうです。「量を作るのではなく、美味しいものを作ることで他のねぎと差別化をはかっている。そのために必要なのは規格基準」と松本さんは言います。「越谷ねぎは歴史があつておいしい、ということ在地元の人にもつと知ってもらいたい。越谷ねぎを自慢できるようになつてほしい。越谷は何にしても一番を目指します。」松本さんの挑戦は続きます。



越谷ねぎの特徴

越谷ねぎは軟白部がしっかりと締まつていて、煮崩れせず、辛みと強い甘味が特徴です。糖度は生の時で8〜11度(いちご並み)。加熱すると14〜20度(巨峰並み)近くになります。その美味しさの秘密は、越谷市の地形に有ります。越谷市には、新方川をはじめ元荒川、綾瀬川など利根川水系の一級河川が6本流れています。それらの河川の周辺の畑で越谷ねぎは生産されています。それらの畑は河川が運んできた水分の保たれた砂土壌のため、自身の締まつたねぎができます。また、越谷の土は乾燥すると固まり、ねぎにかなりのストレスを与えるため、弱いねぎは負け、強く良いねぎだけが生き残ります。さらに、越谷は霜が降りても雪は多くは降らない地方であるため、まつすくなねぎを育てることが出来るのだそうです。生

越谷市市民活動支援センター利用案内とアクセスマップ



東武スカイツリーライン越谷駅下車 東口徒歩1分
駐車場:東口駐車場(有料)・駐輪場:Aシティ地下(2時間迄無料)

配布協力場所 募集しています

施設・店舗・事務所に「ななサポ」を置いていただけませんか。
年3回発行、本紙・送料は無料です。配布にご協力いただけるとは、越谷市市民活動支援センターまでお問い合わせください。
TEL 048-969-12750

問い合わせ

越谷ねぎ匠の会事務局
営業部 担当:松本
048-969-6372

産者の栽培に対するこだわりも強く、通常の土寄せより、多く行っていることで太く長いねぎができるのです。旬は11月後半から3月までとのこと。

越谷市市民活動支援センター

所在地 〒343-0816 埼玉県越谷市弥生町16-1
越谷ツインシティBシティ4階、5階
電話 市民活動支援センター TEL.048-969-2750 FAX.048-969-2751
観光・物産情報コーナー TEL.048-969-1819 FAX.048-969-2752
中央図書室 TEL.048-969-1800
E-mail info@koshigaya-activity-support.info
HP http://koshigaya-activity-support.info/
利用時間 市民活動支援センター 午前9時～午後9時30分
観光・物産情報コーナー 午前9時～午後9時30分
中央図書室 午前9時30分～午後9時30分
休所日 市民活動支援センター 12月29日～31日、1月1日～3日
観光・物産情報コーナー 12月29日～31日、1月1日～3日
中央図書室 12月29日～31日、1月1日～4日
※観音点後日、休室日別途あります。

越谷市市民活動支援センター

(ななサポこしがや)は指定管理者
アイル・オーエンズグループが
管理運営しています。

編集後記

◆「あなたの長所は？」と聞かれると意外と考え込んでしまうことが多いと思います。自分の住んでいる街の良いところを問われると、即答できない人も多いのではないのでしょうか。
一般にまちづくりの推進者は「よそ者・若者・バカ者」と言われます。幸いにして越谷には、新設マンションも大学も多く、よそ者や若者の流動の多い街です。日々当たり前と思つて見過ごしているコトを異なつた視点で見て、地域資源として再生させた事例が、全国に存在します。古いモノと新しいモノの交流推進の一助を、当センターも担えればと思います。(野口)
◆最近、通勤で歩くように心がけていますが、そうすると自然と周りの景色が目がいけます。薄曇りや曇りが落ちてくるのを見ると、残念な気持ちになります。記事の中には「きれいな」と気持ちいい」という言葉が何度か出ていますが、本当にそのとおりだと思ひます。一人一人がマナーを守り、環境を守ることを心掛ければその連鎖はつながついていくのではないのでしょうか。自分たちの住むまちを自分たちで綺麗にし、素敵な景観を守っていきましょう。(MI)